建交労鉄道
岩手地本
２０２３年２月16日
NO １６２号
発行責任者
須藤清成

物価高に見合った賃上げを
軍拡NO生活守れ

今春闘では1人の100歩より、100人の1歩を合言葉に、奮闘します

２０２３年春闘が始まりました。物価高騰の規模は41年振りですが、当時と大きく違うのは労働者の実質賃金が下がり続けてきた下での物価高であることです。実質賃金は１９９６年度の年間４４７・４万円をピークに、２０２１年度は、３８４・４万円と63万円も下がっています。22年11月はそこからさらに低下しました。「賃金が上がらない国」からの転換が切実に求められる中、春闘は例年に増して、労働者の生活と日本経済にとって重要な意義を持っています。

大軍拡を止め、社会保障と暮らしを守ろう

岸田政権が進む大軍拡は、日本の安全保障政策を根本からくつがえす極めて危険なものです。同時に、かってない軍事拡大が、社会保障と暮らしを犠牲に強行されようとしており、さらに大増税につながりかねません。労働者・国民の命と生活を守る上でも大軍拡を許さないたたかいが必要です。

慢性的な人手不足の中、コロナ対策の最前線で歯を食いしばって奮闘してきた公的病院と医療労働者に対して、賃上げや人員増、医療体制強化のために使うべきお金、コロナ対策として充てた積立金合計７４６億円を前倒しして返納させ軍事費の財源に転用することを狙っています。

また年金額の改定では、本来行うべき物価上昇に見合う増額をせず、実質的に減額が計画されています。

大軍拡を止め、社会保障と暮らしにこそ予算を回せ

お知らせ

2月19日（日）
わたし☆まちフォーラム２０２３
（10時～15時アイーナ８階・８０４A）

2月22日（水）　盛岡地域総行動
（早朝宣伝、要請行動など）

2月25日（土）盛岡労連・機関紙学校
（13時30分～16時
盛岡市中央公民館１階・中会議室）

3月2日（木）23春闘勝利中央大集会
（日比谷野外音楽堂）（国交省要請）

3月8日（水）　回答集中日

3月9日（木）
全国統一行動日（統一ストライキ含む）
貨物本社前で抗議要請行動

11日（土）東日本大震災津波から12年
祈りの灯火２０２３

13日（月）　重税反対行動（予定）

18日（土）　さよなら原発岩手県集会
２０２３

5月　1日（月）　第94回メーデー

原発ゼロ NO １４０
ねらわれている原発再稼働

原発60年超も運転へ

原子力規制委が新規制案を了承　福島第一原発事故を教訓に定められた制度の大転換

原発の運転期間について、原子力規制委員会は10年ごとに規制委員会が審査し、認めれば60年を超えても運転できるように規制を見直す案を正式に了承しました。

東京電力福島第一原発事故を教訓に定められた制度の大きな転換になります。

原発60年超も運転へ原子力規制委が新規制案を了承。福島第一原発事故を教訓に定められた制度の大転換原発60年超も運転へ。原子力規制委が新規制案を了承

福島第一原発事故を教訓に定められた制度の大転換

原子力規制委員会 山中伸介 委員長

「高経年化した発電用原子炉に関する安全規制の概要の案、了承してよろしいでしょうか。ご了承いただいたと判断いたします」

原発の運転期間については、これまで福島第一原発の事故を受けて改正された原子炉等規制法により原則40年と定められ、規制委員会が認めれば1回だけ最長で20年延長できます。

岸田政権による原発運転期間を延長する方針を受け、原子力規制委員会は定例会合で、運転開始の30年後からは10年以内ごとに設備の劣化を審査し、合格すれば60年を超えた運転も認可できるようにする新たな規制制度案を了承しました。

今後、一般から意見を公募し、電力会社との意見交換を経て、運転期間の上限60年などを定める原子炉等規制法の改正案をまとめます。

これで福島第一原発事故を教訓として定められた「運転期間は原則40年、最長60年」という規制制度が撤廃され、原発規制は大きく転換することになりました。

「原発回帰」の背景に巨額献金

「可能な限り原発依存度を低減する」などとしてきた政府方針を覆して、新規原発建設推進や老朽原発の運転を認める「原発回帰」に大転換した岸田自公政権。電力会社や原子力関連の企業、研究機関、原発立地地域の自治体などでつくる一般社団法人「日本原子力産業協会」（原産協会、３９２団体）の会員企業が、自民党の政治資金団体「国民政治協会」に、２０２１年の１年間にあわせて約６億３８００万円もの献金をしていたことが赤旗の調べで分かりました。

人間が健康に生きて行く為に162

押し寄せる　ホルモン剤

抗生物質漬けの輸入肉

日本の食卓から魚が減り、肉の消費量は増加の一途。各国との自由貿易協定の発効とともに輸入肉が市場になだれ込んできました。

ファストフードや外食チェーンの多くは輸入肉を使用しています。

安さの陰には、飼育コスト削減のための成長ホルモン剤の使用が常態化。

EUではホルモン剤投与の米国牛肉の輸入を禁止していますが日本ではフリーパスなのです。

また、輸入、国産をとはず畜産での抗生物質の濫用で耐性菌が増え、人間にも影響を及ぼしています。

安心できる肉をどう選ぶ

お店に並ぶ値段も産地もさまざまな肉。

安全な肉を手に入れるにはどうしたらいいでしょうか。

気をつけたい2種類の薬剤

●ホルモン剤（輸入牛・豚に使用）

使用目的

短期間で肥育。早く出荷できてエサ代も節約、生産コストが下げられる。

問題

女児に小宮形成不全などが多発、若者のホルモン異常の症状との関連が指摘。

●抗生物質（全ての肉に使用）

使用目的

治療目的以上に、成長促進・密飼いによる病気の予防目的での過剰投与の懸念。

問題

薬剤耐性菌の増加。多くの治療剤が効かなくなり、より強力な変種菌が産生。人にも影響を及ぼす。

安心できる肉は生産国ではなく、生産者で選ぶ

❶自然に近い飼育環境で、健康に育っている。

❷安全な飼料（非遺伝子組替え・ポストハーベスト農薬不使用）

❸薬剤（成長ホルモン剤、抗生物質）が投与されていない。

良質な肉を選び、健康的な食べ方を

※牛肉や豚肉は、国際がん研究機関で「人に対しておそらく発ガン性がある」グールプに分類。これらは腸内の悪玉菌を増やすため、肉だけに偏らないようにし、たんぱく質源は魚や大豆なども組み合わせ、バランスよく食べてリスクを分散する。

※安心できる肉を買う。よい肉を提供するために努力

２０２３国民春闘　大幅賃上げ
大軍拡ストップへの声を上げよう

建交労鉄道東日本地本代表者会議

スローガン

１．賃金闘争の推進で物価高騰を乗り越えよう！
２．一人ひとりの命が守られる社会へ、賃上げ・雇用を守る春闘を展開しよう！
３．８時間働けば誰もが人間らしくくらせる、公正な社会への転換をせまろう！
４．非正規差別NO・ジェンダー平等を広げよう！
５．いまこそ建交労の総力を発揮しよう！

のスローガンのもと２月４日東十条ふれあい館で東日本地方本部代表者会議が行われ、２０２３春闘で物価高を上回る賃上げを勝ち取り、まともな生活を取り戻すため、今春闘では、主張することは主張し、目標を決め具体的な取り組みを行う。いっせい地方選挙では、労働者・国民として投票する権利を行使し、生き甲斐がある春闘を闘おうと訴えました。

三浦委員長から、

岸田内閣は閣議決定だけで5年間で43兆円の軍拡を決めたことに対して、専守防衛を投げ捨て敵基地攻撃能力を持つのでありこれほどの国会無視・国民無視は断じて許されないと批判しました。

春闘の争点は、物価高騰を乗り越える大幅賃上げが、労働者全体に実現できるかどうか。財界は、物価高騰に追いつかない連合の要求（ベア３％、定期昇給分含めて５％程度）についてでさえ、「慎重な検討が望まれる」と消極的です。春闘では賃上げや年金受給の生活改善を行うために、軍事費ではなく生活に回すのかが問われている。５００兆円の内部留保を取りくずし、日本経済を立て直そうと呼びかけました。

下山書記長より春闘方針案が提起され討論されました。

千葉地本・相木

ＪＲ各社は若年層の転職、退職が多い。合理化、コスト削減で魅力のない会社経営で良いのか、人員確保のため、会社側が労働者に目を向けさせる闘いが必要。

宮城地本・大江

東北ロジスティクスでは、臨時雇用員の日給が昨年の10月より最低賃金を下回る支給がされている。是正を要求している。

神奈川地本・佐々木

自由と平和のための京大有志の会の「声明書」からチラシを作り、清掃労働者に配布した。アクセス協議会でも活用してほしい。本郷台・港南台のごみ箱が撤去された。駅長判断で行われた。確認してほしい。２０２７の変革以降、若年退職者が増えている。ジェッツでは限定免許を取って私鉄に転職している。２０２７検証を行うべきである。

アクセス小野

この１年間で２００名が削減された。社員は毎年定期昇給するが契約・パートにはない。家族手当もない。３５００名の従業員のうち２０００名がパートだ。旧労契法18条と20条を定着させる。掲示板が良く見られている。掲示板は建交労の宝物。アクセス対策会議で知恵を出してもらいたい。

岩手須藤

山田線はＪＲ東日本の中でワースト１位となり、廃線になるのではないかと盛岡市と宮古市の市長が集まり補助金で乗車率を上げ、廃止させない取り組みなど話し合いが行われた。国はローカル線廃止有りきです。地方の公共交通確保の必要性を訴えていかなければならない。

討論の最後に、下山書記長が、「物価高騰による家計への負担が重くのしかかる中、２０２３春闘がたたかわれる。黙っていては何も勝ち取れない。

輸送密度１０００人未満の赤字ローカル線の問題は地方自治体だけに負担を負わせるのではなく、公共交通の維持に必要な基金を創設し、政府が責任を果たさなければならない。

ロジステックの最賃割れの賃金には、抗議し早急な是正を求めていかなければならない。

組織拡大をめざした神奈川地本が対話行動では、工夫した宣伝物が参考になる。アクセス協議会でも取り組んでもらった。

いま、職場で、経費削減・コストカットで欠員が出ても補充されない。黒字経営のあまり安全・安心が損なわれてはいけない。配置転換や若年退職が増えている。

「不満や悩みに耳を傾けて労働組合に結集を呼び掛けて」まとめました。

建交労２０２３年春闘「賃金引き上げ額」と要求

(1)賃上げ要求基準は、アンケート結果と生計費を原則に、すべての労働者が「人たるに値する生活ができる賃金」として**月額３４，０００円以上、日額１，７００円以上、時間額１６０円以上**の引き上げとします。
(2)建交労最低賃金は**月額２２５，０００円以上、日額１２，０００円以上、時間額１，５００円以上**とします。
(3)鉄道本部の一時金要求は、夏季・冬季の合計で基準内賃金の**７カ月分**とします。

今年の抱負

私の山行・一山百名山（一つの山には百もの良さがある）：震災後も継続している花と雪渓「焼石」と、震災後に３回挑戦して天候・体調等により断念している夕日もある「飯豊」のリベンジと、ジョイフル夏山行含めて実行に移せるよう日々健康管理も努めていきたい。

齋藤潤

目の前のことを楽しんで幸せを感じること。数年ご無沙汰の「晴天無風の日、積雪期限定の鎌倉森」に登ること。温かい涙が溢れる本と映画をたくさん読む観ること。

細川忠雄

いの旬蛙の独り言43

ああウクライナ!!
とても「おめでとう」とは言えない新年。
それに付けてもこわいのは台湾有事
習近平が台湾を武力侵攻すれば
アメリカは即介入
在日米軍基地も自衛隊も使われる
日米軍基地は中国から攻撃され
日本人の命が危険にさらされる
それでほくそ笑むのは日米軍需産業
日本は絶対に武力を使わず平和憲法を
守ると改めて世界に宣言し
自公維新の好戦勢力に退いてもらおう
今年は地方選挙、平和を守る一票を。
今年は地方選挙、平和を守る一票を

井上　駿

３・９ＪＲ貨物本社前
抗議・宣伝行動
２０２３春闘・全国統一行動

と　き　　３月９日　１３時
ところ　　ＪＲ貨物本社前　（高島屋前）
○　新人事賃金制度による差別やめろ
○　定期昇給に差をつけるな
○　人出不足を解消せよ
・　月額　３万４千円以上
・　全国一律最低賃金　　１５００円等・・・・

３月ダイヤ改正　東北ロジスティクス関係
臨時雇用員の日給を７，４００円とされたい。
時給１，０００円とすることを要求する

全国貨物協がリモートで23春闘学習会をひらく

「会社は利益が上がらないとベアも出せないと労働者に責任を押し付けてくるが、我々は家族を養っていくために賃上げを要求している。儲かる儲からないというのは経営側の問題だ。相手の土俵に乗ってはならない」

新人事制度について「職場では昇給額が６割になっている労働者が多数を占めており、昇格試験を受けるがことごとく落とされ続けている」、「試験自体が不透明であり、実際に出来レース的な部分が多数見受けられ、何回も落とされる現状にやる気が失せている」状況打開するためには不透明な試験制度は廃止し自動昇格とするべきである。

要求の具体化を論議。要員不足も深刻な問題になっており、災害時に途中駅で長時間止められ、代替要員がいないと10時間も20時間も機関車に缶詰め状態になる。早急に運転士の養成を求めるとしました。

うさぎ年となり、ピョンピョンと戦争準備が進んでいるように感じる。そんな中、さまざまな分野の人が懸念の声を発信している。

元日の岩手日報、「平和の願い　強くずっと」と題して吉永小百合さんへのインタビューが載っていた。

「怖いのは、昨年のサッカーWカップで日本中が沸き返っていた時に、敵基地攻撃能力や防衛費増額という大変な問題を、みんなで考えるんじゃなく、どんどん決めていこうとした動きです。大事なのは、力に頼らず、みんなで意見を出し合っていくことだと思います」と。

そして、89歳のジャズミュージシャン渡辺貞夫さん、91歳の映画監督山田洋次さんの平和を願うとりくみを

つぶやき　幸せと平和

例にとって「そうした方々を見ると、私ももっとしっかりしなければと思います」と結んでいた。

誕生日が私より2日遅く、私より10年早く生まれた吉永さんに「このぼんくらももっとしっかりしなければ」と誓った。

目の前の小さな幸せを守るためにも。

細川忠雄